

育てる会ニュース4月号NO2

4月11日(土) 10時～ 総合センター三階集会室で、「育てる会4月例会」が行われました。テーマは「エッ、こんなに違うの、公民の教科書」。話題提供は板谷さんでした。

雨が降る中、出足も悪いかなあと思いながら会を始めました。しかも、今までは午後の会でしたので、参加者も少ないだろうと予測しましたが、用意したイスの数が足りず増やすほどでした。今回は、新しい参加者も多く、活気のある会になりました。参加した20人のみなさん、雨の中ご苦労様でした。

自衛隊が遺書を書かせる？

「戦争できる国づくりに、安倍首相の危険な言動が続いている。その中で、

- ①自衛隊北部方面隊では、「家族への遺書」を書かせる。
- ②全国の高校卒業生に「自衛官募集の手紙」が届く。
- ③東京の田無工業高校で、「防災訓練」と称し陸上自衛隊の朝霞駐屯地で宿泊訓練を行う。

などの自衛隊の変化が起きている。戦争に向かうのではないかと心配だ。」と話してくれました。

他の教科書と

どんなところが違うの？

「育鵬社の教科書と他の会社の教科書とどこが違うのかを読み比べてみました。」と、板谷さんは、憲法・国民主権・基本的人権・自衛隊・原子力発電などを一つずつ項目ごとに読み比べて、違いを話してくれました。

その中で、育鵬社の教科書の特徴は憲法改正するように教えていくような記述がたくさんあるようでした。

70年間平和な日本が続いたこの憲法を、子どもたちが正しく受け継ぐような学習ができるようにしたいものです。

憲法成立・民間の案も取り入れた！

「びっくりしました。」と話したことは、「育鵬社は、憲法はGHQに押しつけられたと取れる書き方です。でも、他の教科書は、『憲法は日本の民間団体や政党の案も受け入れて提案された。』と書いているのです。

この勉強をした子どもたちは、まず、憲法は押しつけられたのだから変えなければと思うでしょうね。」と話していました。



問い合わせ先

武蔵村山子どもの教育と文化を育

てる会 坂田 042-562-7137

板谷 042-560-7282

基基本的人権は規制と禁止？

基本的人権の勉強では、清水書院は「基本的人権の中心にあるのは、国家の介入や干渉を排除し、人々の自由を保障する人権」であることを書き、自由権・平等権・参政権など具体的にあげ書いています。

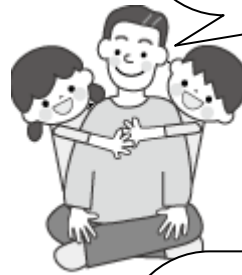
育鵬社は「基本的人権を… 保障する。」と書いていますが「好き勝手なことを許したのではない」と、制限や禁止項目がいっぱいコラムにあげられています。これでは、基本的人権の精神を理解できずに、基本的人権はやってはいけないことばかりだと考えてしまいますね。

「人権って、どんなものがあるの？」

「すべての人が幸福に生きて生活できる権利だよ。」

『人間らしく生きるために、働いたり、勉強したり、楽しんだりできるような生活が大事だということだね。』

「そうか。弱い人の立場に立って、考えるのが大事なんだね。」



自衛隊の海外派兵を応援？

自衛隊のことでは、育鵬社は「湾岸戦争で…日本は多国籍軍に多額の資金を提供したが、評価が低いものだったので、…自衛隊の海外派遣について、法律を整備することも議論」と書き、9条のおかげで、70年間も『殺し・殺され』もしなかったことへの評価はありません。

帝国書院では、「世界大戦後60年以上一度も戦争に巻き込まれることなく平和を守ってきました。」と書き、9条のことも書いています。

「災害の時に自衛隊はうんと活躍しているよ。」「自衛隊って、日本の防衛には必要ではないかな。」

「でも、海外に戦争に行くようになったら、これはやはり9条違反。戦争に巻き込まれるかも。」

「今、アメリカの戦争に巻き込まれ、『日本が戦争できる国にしようと考えているのでは』と心配している人が多いよ。」



新しい参加者がたくさんいらしたので武蔵村山の学力、二学期制、教科書採択、道徳教育、七時間授業と、様々な話題に広がり、話し合いました。まだまだ、たくさん課題があるなあと感じました。

今後の予定

4月28日(火)午後6半～ 武蔵村山総合センター3階 集会室

戦争をする国はいや・戦争肯定の教科書反対武蔵村山連絡会

5月10日(日)午後1時半～3時半 武蔵村山総合センター3階 集会室

育てる会例会「育鵬社 歴史教科書と他の教科書」「中学校検定」

糀谷 陽子さん

5月24日(日)午前10時・午後1時 東京土建武蔵村山大和支部事務所

武蔵村山市宣伝行動 戦争肯定教科書反対のチラシ撒き